

夷耶馬・鷲巣岳地域の自然景観

国東耶馬の風景を代表する夷耶馬

夷耶馬地域は、古い地質の上にさらに重なった耶馬溪層の凝灰角礫岩(集塊岩)が、侵食されてつくられた奇岩、奇柱が並び立ち、「国東耶馬」と呼ばれるすぐれた風景をつくっています。特に香々地町の北西を流れる竹田川上流にある中山仙境は、兩岸にそそり立つ岩峰群に大仙岩、高城、馬の背、不動岩、高岩などの名称がつけられており、耶馬溪式風景が最も広く見られる地域です。



奇岩が林立する夷耶馬(中山仙境)



メーサ台地の鷲巣岳(国見町)

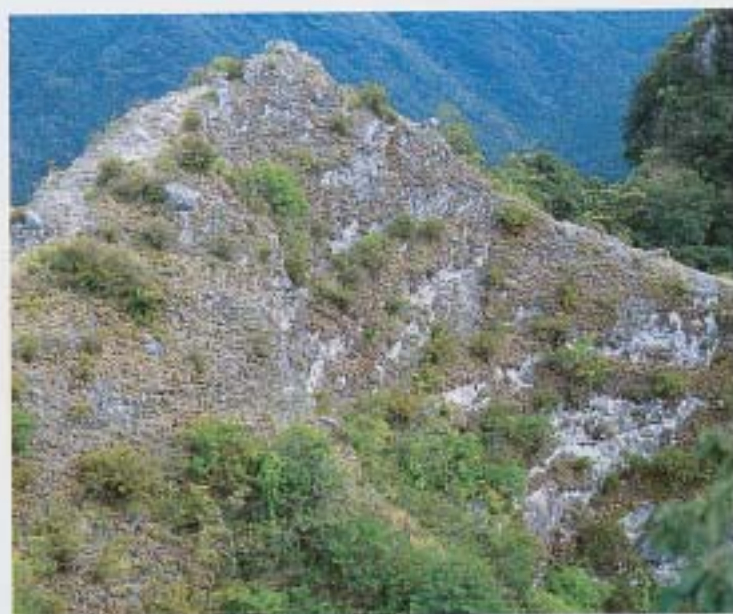
岩角地や半島地形の特徴を反映した植物相

夷耶馬・鷲巣岳地域では、シダ植物と種子植物で122科577種を確認しましたが、岩角地や尾根、溪谷に特徴的な種が比較的多く、全体の40%でした。特に風衝地や乾燥地に発達する植生を特徴づけるイワヒバ、シノブ、イワシデなどが目をひきます。

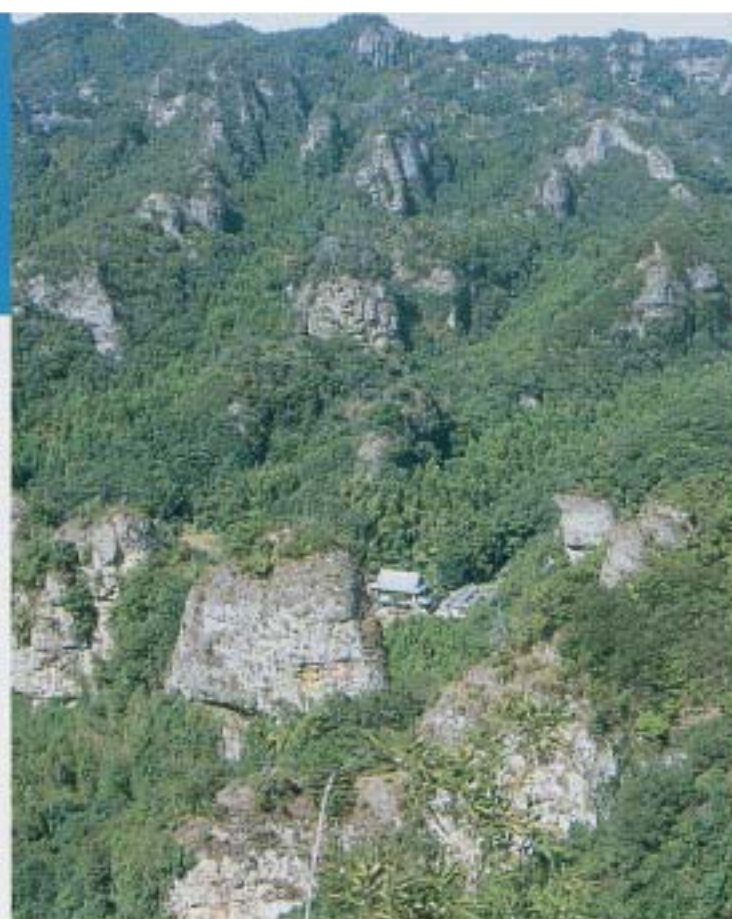
これは、本地域が国東半島の岩角地の一部ですが、耶馬溪のような風景をつくっている地形が植物相に反映しているといえましょう。

代表的なメーサ台地の鷲巣岳

鷲巣岳地域は、夷耶馬をつくっている耶馬溪層の上部に重なった筑紫溶岩の台地が、海に向かって緩やかな傾斜をしたメーサ(卓状台地)となっており、国東半島では夷耶馬とは対照的な地形をつくっています。県内では、玖珠地方の万年山や耶馬溪の八面山と似た形の台地です。



岩肌に群生するイワヒバ(中山仙境)



谷の雑林と尾根・岩角地植生(夷谷)

地の利を生かした森林

夷耶馬・鷲巣岳地域に発達する森林は、地形環境にうまく適応した植生景観が見られます。岩角地や谷が連続した地形の夷谷には、岩上や岩壁にイブキシモツケ群落やイワシデ群落があり、特に中山仙境の稜線に発達しています。特殊な植生としてアベマキ群落や天然性で見られるクスギ群落もあります。一方、鷲巣岳の台地にはタブノキ群落が残っています。人工林も深い谷にはスギ、浅い平谷にはヒノキが植栽されており、気候と地の利を生かした森林づくりがされています。

人里近くをすみかにする動物たち

夷耶馬・鷲巣岳地域の森林は、山が低く自然林も少なくスギ、ヒノキの人工林が多いため、人里近くをすみかにする動物が多いようです。哺乳類のイノシシ、イタチ、タヌキをはじめ、鳥類のヒヨドリ、ウグイス、メジロなど留鳥も人里近くにすんでいます。倒木や朽ち木を根城にして、土づくりをするホソクビキマワリ、ミツギリゾウムシなどの昆虫類も同様です。



イノシシのぬた湯(中山仙境)



修験道の跡といわれる無明橋(中山仙境)

特異な地形景観が仏教文化発祥の源流

夷耶馬・鷲巣岳地域をはじめ国東半島の山の岩上や岩壁の洞窟には祠があり、信仰の像が祭られています。こうした特異な地形景観をもつ半島一帯には、千年もの昔から神仏習合の六郷満山と呼ばれる仏教文化が栄えてきました。自然崇拜の山岳仏教がその起源であり、土俗豊かな庶民信仰の歴史を伝えてきたのです。すぐれた自然景観そのものが仏教文化発祥の源流となったのです。